

会議概要

【開催概要】

名 称 2014年度 第2回新潟市政策改革本部会議
日 時 2014年8月29日(木) 午後2時から
会 場 市役所本館5階 全員協議会室
出席者 本部長(市長)、副本部長(副市長)、本部員(庁議構成員など)

【会議概要】

プロジェクト経過報告

(1) スマホ、タブレット時代の行政サービスのあり方

- ・アプリなどのモバイル端末用サービスの提供について他都市の状況を確認したところ、多くの政令市や特別区、中核市でアプリを活用したサービスを提供している。
- ・効果があるものについては、新潟市でも整備すべきである。
- ・既に新潟市で提供しているサービスについても、スマートフォンなどとの連携活用は可能である。
- ・新潟市の目指す「m-ガバメント戦略」とは、スマートフォン・タブレットで、市民起点のモバイル対応型行政サービスを提供し、市民の利便性を高め、市役所をより市民に身近(携帯)にすることである。
- ・今後は、タスクフォースを設置し、「m-ガバメント(モバイル ガバメント)」実現に向け、具体的な取り組みを進めていく。

(2) 超高齢化時代に向けた医療・介護連携と市役所の役割

- ・市民の健康長寿を実現するため、まずは医療の視点から市民の健康状態や医療サービスの現状、国民健康保険のあり方について現状分析を行った。
- ・市民の健康状態については、全国平均と比べて脳梗塞、胃がんによる死亡率が高いことや、重症高血圧、糖尿病、軽度の脂質異常、肝疾患、腎機能障害など、今後、疾病や医療費の増加につながりかねないリスク要素を抱える人が多いことなどが分かった。
- ・また、区別の傾向を見ると西蒲区に特徴があることがわかった。
- ・これらの現状分析結果を受け、下半期は以下の三つのテーマについて、引き続きタスクフォース体制で取り組んでいく。

- テーマ A：医療・介護戦略計画策定（全市的な計画策定）
- テーマ B：西蒲区プロジェクト（テーマ A のパイロットプロジェクト）
- テーマ C：地域健康度の見える化（西蒲区を中心に実施）

（3）利用者起点に立った各区の複合施設のあり方

- ・複合施設におけるマネジメントや機能配置はどうあるべきかを検証するため、庁舎面積が区役所中最大であり、行政窓口や図書館など7つの機能と商業テナントフロアを有する「東区役所」においてケーススタディを実施した。
- ・区役所内にワーキンググループ（WG）を設置し、利用者起点に立って館内を点検したところ、様々な問題点が見つかった
 - 入口の案内看板には、各機能の開館・閉館時間など、基本的な利用案内の記載がされておらず、施設を初めて利用する人や不慣れな人は分かりにくい
 - 施設中に、ビラ、チラシ、ポスターが設置され、必要な情報を見つけにくい など
- ・これまでに、すぐできる改善（掲示物の整頓や不要物の撤去など）を行い、今後は、根本策の検討と改善を実施する。
- ・なお、東区役所の点検で把握した問題点をチェックリスト化し、併せてWGで実践した一連のサービス改善活動の流れを基本スキームとして確立した。
- ・これらのノウハウをもとに、今後は、利用者起点に立った公共施設の点検を全市へ展開していく。